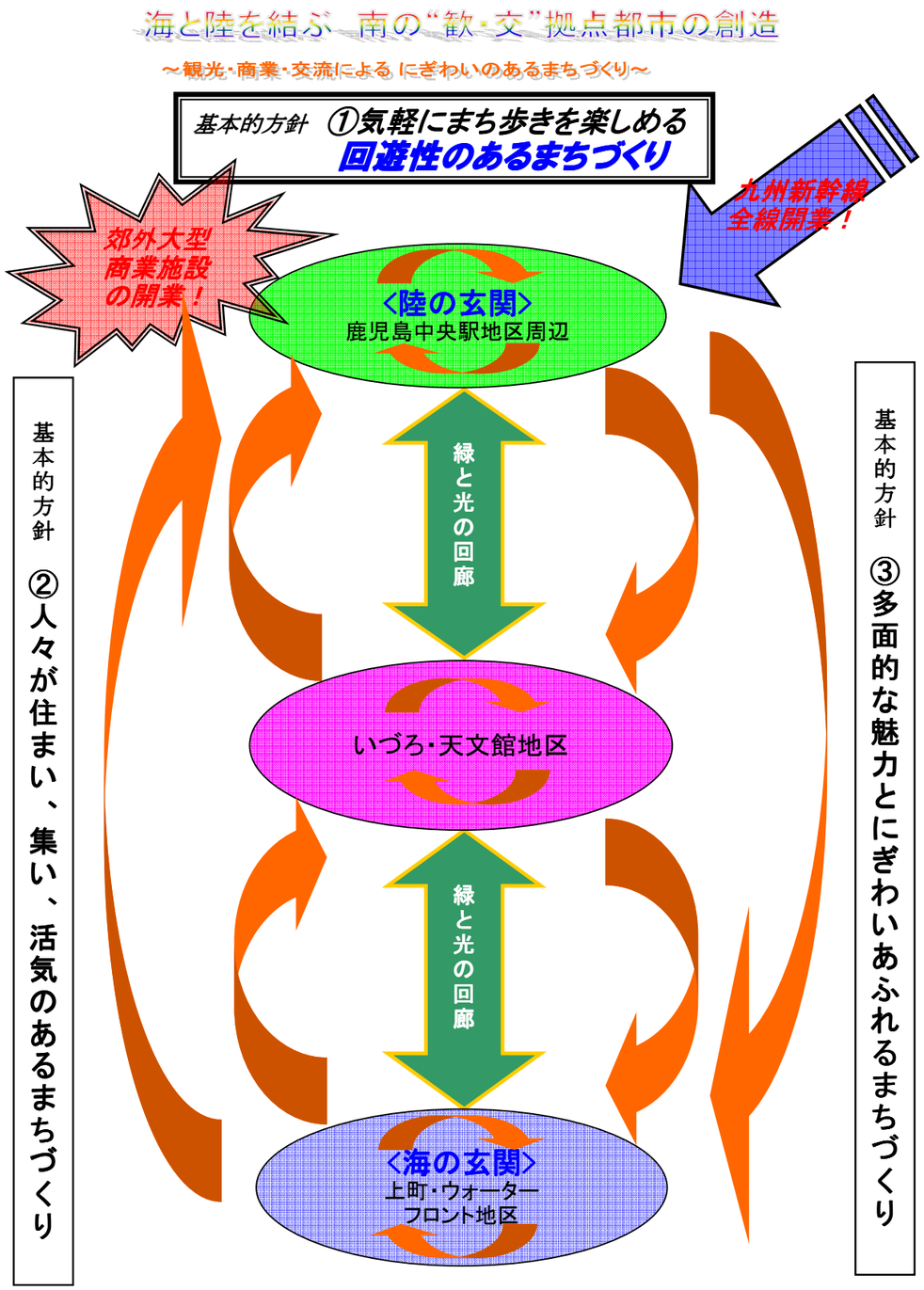
1　中心市街地活性化の基本イメージと基本的方針・目標・目標指標



〔中心市街地を巡る状況〕

- ○九州新幹線部分開業に伴う、交流人口の堅調な増大
- ○相次ぐ大型商業施設の中心市街地外への出店による中心市街地の地位の相対的低下
- ○本市の高齢化率は上昇傾向、中心市街地は高止まり
- ○映画館移転等による文化機能の低下

→

- ○商店街歩行者通行量の減少
- ○小売業年間商品販売額の減少
- ○中心市街地内の回遊性低下

中心市街地のまちづくりの方向性
〔中・長期的方向性〕

中心市街地活性化のための基本的な方針

①気軽にまち歩きを楽しめる回遊性のあるまち	②人々が住まい、集い、活気のあるまち	③多面的な魅力とにぎわいあふれるまち

特に本計画期間中の喫緊の課題

郊外大型店の出店
- ・イオン鹿児島ＳＣ開業（H19.10）
- ・オプシアミスミ開業（H19.11）など

九州新幹線の全線開業
- ・2011.3 全線開業
- ・博多～鹿児島中央間、約１時間 20 分

中心市街地活性化の方向

～南九州随一の繁華街のにぎわいの回復～

- ○まちなかに多くの人々が集まり、回遊する仕掛けづくり
- ○九州新幹線全線開業に対応した観光機能の強化
- ○多面的な商業機能の強化

本基本計画で目指す目標
〔短期的目標〕

中心市街地活性化の目標

①まちなかのにぎわい創出と回遊性の向上	②九州新幹線の開業効果を生かした観光の振興	③南九州随一の中心市街地の商店街活性化

数　値　目　標

①歩行者通行量（単位：人／日）	②年間入込観光客数（単位：人）	③小売業年間商品販売額（単位：百万円）
現況値（H18）　目標値（H24）	現況値（H18）　目標値（H24）	現況値（H16）　目標値（H24）
125,531 → 150,000	6,801,000 → 8,000,000	209,421 → 210,000